



## 厚生労働白書令和3年版に松戸市が掲載されました 「新しい生活様式を目指し、オンラインで人がつながるサロンを実現」

令和2年度、千葉大学予防医学センターがオンライン通いの場等が日本医療研究開発機構（AMED）の研究開発費が採択され、松戸市と共同で実施した内容が厚生労働白書令和3年版のコラムとして掲載されました。

令和3年度版 厚生労働白書-新型コロナウイルス感染症と社会保障-は、新型コロナウイルス感染症が国民生活に与えた影響と対応を巻頭に特集するに際して、新型コロナウイルス感染症を契機に国民生活はどのように変わったかを調査している中で、特に日常生活におけるオンラインの浸透の項目で、外出自粛に伴いオンライン化が浸透し、SNSなどの新しいコミュニケーションツールの利用が増加している事例として本市の取組が紹介された。（別紙：厚生労働白書）

### ＜オンライン通いの場（サロン）＞ ※（別紙：昨年度参加募集案内）

新型コロナウイルス感染症が広がり、高齢者が外出自粛等を行うことにより、健康二次被害が懸念されたことから、従来の対面方式から新しい生活様式としてオンラインで人と人がつながる仕組みが有効に機能できるかを検討するために実施した。

- ◇3週間タブレットを貸与
- ◇初回と最終回は対面講習
- ◇期間内にサポートする事業者が参加プログラムの提供
- ◇リモートによるサポート

### （実績）

24団体 | 46名が参加

### （効果等）

- ◇新規購入増
- ◇タブレット活用者増
- ◇参加者の7割以上が楽しかった
- ◇今後、通いの場で活用できると考える人8割以上
- ◇オンライン活動を継続5割以上



やさシティ、まつど。  
matsudo

### ＜今年度の事業＞

9月より昨年度同様の事業を市が実施するとともに、千葉大学予防医学センターと協力し、効果検証を行う。

#### 【本件に関する問い合わせ先】

〒271-8588 千葉県松戸市根本387-5

松戸市福祉長寿部地域包括ケア推進課

☎047-366-7343 FAX047-366-0991

✉[mckaigoyobou@city.matsudo.chiba.jp](mailto:mckaigoyobou@city.matsudo.chiba.jp)



**コラム** 新しい生活様式を目指し、オンラインで人と人がつながるサロンを実現（千葉県松戸市）

**取組みの背景と新型コロナウイルス感染症の流行**

千葉県松戸市では、2016（平成28）年11月から、千葉大学予防医学センターと協定を締結し、NPOや企業等と連携しながら、住民主体の活動により要介護認定率や介護給付費の減少を目指すための都市型介護予防モデルを構築する「松戸プロジェクト」に取り組んでいた。

ところが、新型コロナウイルス感染症の流行により、地域における対面型の活動が困難になった。同プロジェクトが、介護予防に資する住民主体の通いの場である「元気応援くらぶ」へのアンケート調査を行ったところ、2020（令和2）年4月からの緊急事態宣言中に活動を休止している団体が7割超、宣言解除後に再開した団体も半数未満となるなど、高齢者が運動する機会や人と会う機会が減少し、心身への影響が危惧された。一方で、アンケート調査では、元気応援くらぶの活動時のビデオ会議ツールの活用頻度は低いものの、約半数の団体が興味関心を示していた。

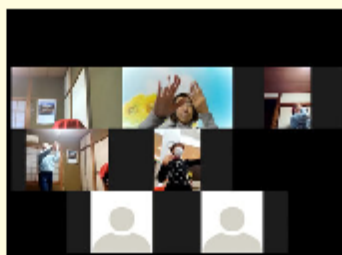
**オンライン・サロンの取組みと成果**

同プロジェクトでは、上記アンケート調査結果を踏まえ、元気応援くらぶを中心に、タブレットによるビデオ会議ツールを活用したオンライン・サロンの取組みを行うこととした。

具体的には、タブレットを参加団体のメンバーに3週間無償貸与し、まずタブレットになじみの薄い高齢者でもスムーズにコミュニケーションが取れるよう、その使い方などを体験してもらった講習会を開催した。その後、各参加団体が、サポート役のスタッフの支援を受けつつ、タブレットを活用して活動を行った。活用方法は様々であるが、盆踊りの活動をしている元気応援くらぶでは、練習をオンラインのみで行い、その成果として実際にメンバーが集合して踊る機会を設けた。練習は先生を中心にお互いの動きをタブレットの画面を通じて確認しながら行ったが、いざ集合して合わせてみると息がぴったりと合っており、全員が一体感と充実感を感じることができた。



盆踊りの集合練習



盆踊りのオンライン風景

**取組みの成果と今後の展開**

こうしたオンライン・サロンの取組みには、同年11月から翌年3月にかけて、24団体150名程度の参加があった。参加者は、女性の後期高齢者の割合が多く、スマートフォンやタブレットの使用経験の無い者が半数以上であったが、多くの参加者から楽しかったという意見が聞かれた。この期間中に新型コロナウイルスに感染した者はいなかった。また、参加者へのアンケートでは、オンラインでも通いの場の活動ができるとの回答が8割以上であり、実際に半数以上が今後も続けるとしている。同プロジェクトでは、オンライン・サロンに前向きな意見が多かったことから、ウィズコロナにおける取組みとして定着させていくことを考えており、例えば男性でも興味を持てる活動や高齢者の身体の状態に応じた活動を支援していくことを考えている。

同プロジェクトは、今後も新たな生活様式に合わせた社会参加の場を確保できるような仕組みや機会を作り、家族や仲間、地域とつながりを保ちながら、健康寿命の延伸に寄与することを目指している。



やさシティ、まつど。  
matsudo

千葉大学・松戸市共同研究協定に基づく都市型介護予防モデル

松戸プロジェクト

参加費**無料**  
タブレット  
貸出**無料**

タブレットで  
楽しく会える!



# 通いの場の オンライン 無料講習会のご案内

コロナ禍で外出もままならない、友人とも会えない状況…。でも「楽しいことをしたい」「顔を見てコミュニケーションを取りたい」

そんな想いを持った方々を対象に

オンラインでつながれる無料体験講習会を行います。

1日約1時間、2~3週間の間に無理なく楽しく学んでいただけます。

千葉大学と松戸市の共同研究「松戸プロジェクト」の一環です。

この機会にオンラインでつながる楽しみをぜひ体験してみてください。

高齢者**自体が行う事業のため**  
みんなでワイワイ楽しく話せる!!



専門スタッフの  
サポート付き!

2~3週間タブレット  
無料貸出!



インターネットでつながる楽しさ!



松戸市と千葉大学の共同事業で  
協力事業者が無料で全面的にサポート!

オンラインサポートがあり  
困ったときでも安心!

(インターネットやリモート窓口などでサポート)



オンラインサロン関係で問い合わせは



千葉大学  
CHIBA UNIVERSITY

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33  
千葉大学工学系総合研究棟1502号室

電話:043-290-3177

メール:jages-salon@jages.net



## 体験の概要

### オフライン(対面)での初回講習会

- みなさんにセットしてすぐに使える状況にしたタブレットを貸し出し
- インターネットについての注意事項や概要、楽しみ方などを学ぶ教室を開催

1週間での体験時間  
初回講習会(1~2時間)  
4~8時間(毎日1時間程度)



### ご自身や仲間+サポーターで使ってみる

- 2つ目は皆さんが団体として実際にタブレットを使ったコミュニケーションや団体の活動にタブレットを使った活動ができるように体験
- サポート役のスタッフがお手伝い(インターネットやリモート窓口、メール、お電話など)

※サポートは事業者により異なります。

1週間での体験時間  
4~8時間(毎日1時間程度)



### ご自身や仲間だけで使ってみる

- グループ同士で自由に利用。カリキュラムの実施や活動報告などを提供していただき、みなさんでつながりましょう
- サポート役のスタッフがお手伝い(ここからはピンチの時だけ)
- 最終回の講習会で調査に回答していただきます
- タブレットの返却

1週間での体験時間  
4~8時間(毎日1時間程度)



- 国立研究開発法人 日本医療研究開発機構の研究費で行う調査研究事業です。
- 参加者のみなさまに複数回の調査票への回答による調査にご協力いただくようお願いいたします。
- データは個人が特定できないように保護した上で取り扱います。

